

令和2年度

事業報告書

特定非営利活動法人 境を越えて

1 事業の成果

コロナ禍により予定していたイベントは中止あるいはオンラインに切り替えて実施するなど苦しい状況が続いたが、結果的にメディアへの露出が増えるなど広報的に成果が大きかった。また、学校へのカリキュラム化プロジェクト、当事者生活介入プロジェクト、熟達ヘルパーの調査など、広報以外の事業内容も予定通り、あるいは予定以上の成果を出せた。とくにカリキュラム化プロジェクトにおいては、令和3年度よりある学校で単位化が決まり、予定よりも1年早く成果を出すことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5580.973】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	重度訪問介護当事者とその家族へ支援者（コーディネーター。介護者のシフトの調整やコミュニケーションの調整を行う）を育成し派遣する。	通年、月に1~2回	岐阜・都内	3人	重度訪問介護利用者とその介護者と家族	4人	629.546
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	障がい当事者や介助者からの相談対応	通年、月に4~5件	都内を中心に全国	8人	障害者支援事業に関心のある一般市民	54名	545.396
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	“介助の視点で学ぶ地域生活”カリキュラム化プロジェクトモデル事業実施に向けてカリキュラム案の検討会を実施	4月~2月	オンライン	10人	障害者支援事業に関心のある学生	30人	870.165
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	地域で暮らす当事者の疾患を当事者、医療者、介助者それぞれの視点から深く学べる講義を実施	6月~11月	オンライン	4人	障害者支援事業に関心のある一般市民	30人	538.858
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	熟達ヘルパーの現状把握検討会と実態把握を通し、学術的調査を実施	8月より5回	オンライン	10人	障害者支援事業に関心のある一般市民	400人	568.359
在宅の重度障害者の支援者養成・派遣事業	介助者、学生ヘルパー希望者と障がい当事者のマッチング支援	9/21	高知・長野・山梨・東京・岐阜	4人	障害者支援事業に関心のある一般市民	12名	545.516
在宅の重度障害者による講演会等による広報・啓発事業	学会参加者を対象に、学会にてALSの情動制止困難などについて発表	11.20-21	オンライン	2人	障害者支援事業に関心のある一般市民	400人	586.839

在宅の重度障害者による講演会等による広報・啓発事業	一般市民を対象に、障がい当事者の介助者を集め方や育て方などの実例を紹介するイベントを実施	3/13	オンライン	2人	障害者支援事業に関心のある一般市民	126人	445.858
在宅の重度障害者による講演会等による広報・啓発事業	一般市民を対象にコラム集を発行	3/31	全国	10人	一般市民	740人	850.436

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)